

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和3年3月11日(木)13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、田中主任安全審査官、北條技術研究調査官

有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

事業計画統括部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他8名

5. 要旨

○原子力機構から、東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・ HAW及びTVFの重要な安全機能に係る系統に使用している難燃性ケーブルの性能について、施設建設時のケーブル燃焼試験の記録がないことから、新規制基準適合性審査が先行する他事業者による同一材質のケーブルの燃焼試験の結果をもって同等の性能を有するとする旨説明されているが、同一材質のケーブルであってもメーカーによって性能に差があることから、本説明をもって同等の性能を有するとは適当ではない。
- ・ 上記に加えケーブルの経年劣化による影響も考慮し、劣化要因の最も厳しいと思われる箇所のケーブルをサンプリングして燃焼試験を実施することも検討すること。
- ・ 火災防護審査基準に照らした対策が困難であるとしている設備については、困難である理由と代替策を設備毎にまとめて説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：再処理施設の内部火災に対する防護について

資料2：TVFの竜巻対策工事（開口部の閉止措置）について

資料3：TVFの設備耐震補強工事（冷却水配管のサポート追加）について

資料4：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）